

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	2024年 5月 30日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 〒612-8379 京都市伏見区南寝小屋町91番地	氏名(法人にあっては、名称及び代表者名) 京都有機質資源株式会社 代表取締役 安田 暁彦 電話番号: 075-953-6100

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001
適用範囲	京都有機質資源株、安田産業株統括管理本部他12箇所
導入年月日	2004年 1月 21日
認証番号	EMS79111
基本方針	汚染予防、環境保全、資源有効利用に努める マネジメントシステムを構築し継続的な改善に努める 環境に関する法律、条令等を遵守する
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	環境負荷のなかでも二酸化炭素の排出量を抑えることを目標とする。 ただし排出量は原料処理量に比例して増減するので二酸化炭素排出量 (t)/原料処理量(t)を原単位とし、原単位の減少を目標とする。
目標を達成するための取組の内容	平成17年から19年においてボイラー等の設備を更新し、重油に廃植物油を混合して燃料として使用し、重油の使用量を減量することにより、二酸化炭素の発生を抑えることに取り組んできました。平成20年以降は廃植物油の混合割合を増やすことによってさらに二酸化炭素発生量の削減を目指しました。平成23年度に効率の良いクッカーに更新しました。継続して廃植物油を使用割合を上げて、重油の使用量を削減するように取り組む。また、高効率モーターの順次入れ替えと、LEDの順次導入に取り組めます。
目標を達成するための取組の進捗状況	昨年度と比べると原単位は減り、電気使用量、化石燃料の使用量も同様に減りました。廃植物油の使用割合はそれほど増やすことができませんでしたが、電気使用量は節電チェックシートなどで、節電を徹底することで、電気使用量は減りました。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	廃植物油の使用割合はそれほど増やすことができませんでしたが、節電の取り組みにより、電気使用量は減らすことができました。今後も引き続き温室効果ガス削減に向けて、電気使用量と重油使用量の削減に努めます。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況は、労働安全衛生法、道路交通法、消防法、計量法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、エネルギーの使用の合理化に関する法律、地球温暖化対策条例、肥料取締法、食品リサイクル法に基づいて、検査、許可(更新)、届出、報告等が行われているか、内部監査、外部審査の際に、確認が行われ、確実に実行されていることが確認できた。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	重油削減による二酸化炭素排出削減は効果があるため、引き続き取り組むこととします。電気使用量については、節電に努め、LEDの導入や高効率モーターの節電対応機器の入替計画を進めていく予定です。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。